

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		賀詞交歓会事業		担当課 秘書課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営		計画期間 平成 5年度～
	施策	適正な行財政運営の推進		種別 任意的事務
	基本事業	計画行政の推進		市民協働 その他
予算科目コード		01-020101-22 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市内の各種企業・公共機関・団体の代表者に対して、新年の抱負を伝え、市政運営の理解と協力を求めるとともに、懇親を深めることを目的として、平成5年1月から開始した。	①招待者の把握（各課から対象者リストを収集） ②案内状の発送・出欠状況の把握 ③出席者名簿の作成 ④開催内容の検討，市役所関係課や関係者等との協議 ⑤開催 参加者から負担金（3,000円）を徴収し，その範囲で実施しているが，総事業費は一般財源で繰り入れている状況である。財源の見直しや会場産品の活用・会場内でPR動画を放映するなどし内容を充実させる努力を行っており，出席率の向上を図るため，事業内容を検討している。 なお，市内の会場では送付状送付者数に制約があることから，出席率の向上につながるような対象者の精査に取り組む。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
各団体，企業の代表者，議員等の各界代表者が一同に会し，新春の賀詞を交換し，市政運営に対する協力を要請する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
各種企業・公共機関・団体の代表者と懇親を深めるとともに，市制運営に対する理解と協力を求めるもの。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
参加者は、前年度より若干増加している。 各種企業・公共機関・団体の長が一堂に会する機会をPRの場と捉え、市の情報を発信することで質の高い行政運営につなげる。出席率を上げるため、年明けの多忙期を避けて開催することを検討する。	参加者が各種企業・公共機関・団体の代表者であることから、市への関心や愛着をより強く感じてもらうPRの場として、守谷中の生徒が制作した守谷市のPR動画を会場で放映した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
案内状送付者数（人）	391.00	377.00	262.00	250.00	250.00
参加者数（人）	177.00	181.00	193.00	180.00	180.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	財源の見直しや地場産品の活用など、参加者の意向を把握し、随時改善に取り組んでおり、これ以上の成果向上の余地は小さいと考えるが、出席率の向上を図る必要がある。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	財政事情や参加者の状況などから、市内の会場では送付状対象者の拡充は難しい状況である。また、参加者から負担金を徴収して実施しているが、一般財源を繰り入れて実施している状況であることから、負担金の増額や費用の削減、事業内容の見直し等による事業費適正化の検討を行うとともに、参加者の出席率向上を図る必要がある。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	605	616	677	690	690
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	531	546	546	540	540
	一般財源	74	70	131	150	150
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	257.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,054	0	0
トータルコスト		605	616	1,731	690	690

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		行政評価事業	担当課	企画課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営	計画期間	平成14年度～
	施策	適正な行財政運営の推進	種別	任意的事務
	基本事業	計画行政の推進	市民協働	企画立案への参画
予算科目コード		01-020107-02 単独	根拠法令・条例等	守谷市行政評価実施規程

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
厳しい財政状況を踏まえ、効率的・効果的な成果重視型の行政運営への転換を図るため、平成14年度から国や先進自治体での取組を参考にしつつ、行政評価システム導入の検討を行い、平成16年度から本格的に行政評価システムを導入した。	1 事務事業評価 事務事業の成果等を評価し、改革・改善につなげる。 2 施策評価 施策の目的達成度の評価等に基づき、施策間の優先度を評価し、次年度の経営方針を策定する。 3 外部評価 行政評価の客観性を高めるために、守谷市行政改革推進委員会による外部評価を実施する。市は評価結果に対する取組方針を決定し、その取組についての進行管理を行う。 4 市民アンケートの実施 市民アンケートを実施して、成果指標の現状値を把握する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
1 事務事業の改革改善や職員の意識改革を図る。 2 行政評価に基づくPDCAサイクルを展開していくことで、総合計画を効果的かつ効率的に推進させる。 3 評価結果を公表して、市の説明責任を果たすとともに市民に市の事業を理解してもらう。	
（参考）基本事業の目指す姿	
計画的に質の高い行政事務を進める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
現状は、評価表の作成にとどまり、評価表の活用が図られていない。 また、評価表が市民にとって分かりやすいものになっていると言えない。	平成28年度の事後評価から新しい行政評価システムに切り替え、事務事業の目的や課題を認識しやすい評価表とした。 また、中間評価を導入し、行政評価の結果と次年度の予算が連動しやすくなった。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
成果指標が目標値を達成できた事務事業の割合	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下		平成28年度からは、事務事業においても目標値を定め、その達成に向けて改善の意識を高めることで、成果をより向上させる。			
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 □ 維持 ■ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了		行政評価を通して、PDCAサイクルの考え方を浸透できるように、引き続き効率性の高いシステムにするための改善を重ねていく。また、研修会等を実施し、職員（特に若手職員）の意識の向上を図っていく。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	3,232	2,612	3,075	601	600
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,232	2,612	3,075	601	600
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	770.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	3,157	0	0
トータルコスト		3,232	2,612	6,232	601	600

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		行政改革推進事業		担当課 企画課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営		計画期間 昭和62年度～
	施策	適正な行財政運営の推進		種別 任意的事務
	基本事業	計画行政の推進		市民協働 企画立案への参画
予算科目コード		01-020107-08 単独	根拠法令・条例等	守谷市行政改革推進委員会設置条例

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
簡素で効率的な行政運営と行政サービスの向上を目指し、昭和62年に「守谷町行政改革大綱」を策定。大綱に基づき、行政改革実施計画の進行管理を行うこととなった。それに伴い、諮問機関として行政改革懇談会（現行政改革推進委員会）、内部協議機関として行政改革推進本部が設置された。	・行政改革の基礎となる大綱及び実施計画等を策定する。 ・実施計画等の進行管理を行い、市の行政改革につなげる。 ・行政改革推進に関する重要事項の審議や答申、実施計画等の進捗確認あるいは助言を行う「守谷市行政改革推進委員会」の運営を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
総合計画の実現に向けて、市の構造やシステムを市民ニーズの多様化や行政を取り巻く社会情勢の変化等に適切に対応できるようにする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
計画的に質の高い行政事務を進める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐増加 ☐維持 ☐削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
行政改革実施計画の進捗管理を徹底させる。	行政改革推進委員会から意見を聴取しながら、実施項目に対する取組状況や課題、改善事項を意識しやすい執行管理表を調製した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
行政改革実施計画の目標達成割合（目標達成項目／全項目）（％）	4.76	42.86	0.00	27.27	100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	平成28年度は、第七次行政改革実施計画の初年度であり、個別の取組においては目標達成に至っていない。今後、改善した執行管理表を活用し、目標達成に向けたフォローアップを行うことで、成果の向上につなげていく。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 □ 維持	■ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	第七次守谷市行政改革大綱に掲げている「意識の改革」の実現に向けて、職員への意識付けや目標達成に向けたフォローアップの方法を工夫していく。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	364	356	312	298	798
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	364	356	312	298	798
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	476.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,952	0	0
トータルコスト		364	356	2,264	298	798

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業		担当課 企画課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営		計画期間 平成28年度～
	施策	適正な行財政運営の推進		種別 任意的事務
	基本事業	計画行政の推進		市民協働 企画立案への参画
予算科目コード		01-020107-13 単独	根拠法令・条例等	まち・ひと・しごと創生法，守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要綱

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
まち・ひと・しごと創生法に基づき、人口ビジョン実現に向けて効果の高い施策を集中的に実施するための戦略を策定することが各自治体に義務付けられた。今後、その戦略を推進していく必要がある。	平成27年2月に策定した「守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進するために、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議等で進管理や評価を実施する。 本事業では、会議運営に係る経費等を計上し、個別の戦略については、別途、事業を設定し実施していく。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
人口ビジョンで描いた将来展望を実現するために、戦略を展開し、「住まう」まち（住み続けることができるまち）を実現させる。	
（参考）基本事業の目指す姿	
計画的に質の高い行政事務を進める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
該当なし	まち・ひと・しごと創生推進会議等で総合戦略の進行管理や評価を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
目標値を達成した成果指標・KPIの割合（全34指標値）（％）	0.00	11.80	11.80	40.00	100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	総合戦略の中で取組を開始している事業はあるが、まだ計画期間の2年目であるため、目標値の達成に至っている事業は少ない。今後、目標値の達成に向け事業を推進し、成果を向上させる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
■拡大 □縮小 □維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	総合戦略の目標達成に向けて、未着手の取組について事業化を検討していく。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	0	1,741	102	102
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	1,741	102	102
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	172.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	705	0	0
トータルコスト		0	0	2,446	102	102

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		守谷市統計調査員協議会運営事務		担当課 企画課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営		計画期間 昭和48年度～
	施策	適正な行財政運営の推進		種別 任意の事務
	基本事業	計画行政の推進		市民協働 補助事業
予算科目コード		01-020501-02 単独	根拠法令・条例等	守谷市統計調査員協議会規約

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
昭和48年に、統計調査員の確保を目的として統計調査員協議会が発足した。	各種統計調査は、統計法に基づく国からの受託事務であり、毎年何らかの統計調査が行われている。統計調査は、調査員が調査対象を一軒一軒回り調査を行っており、協議会員は率先して統計調査を行う。また、協議会員は研修を行い、調査の資質向上に努めており、円滑な統計調査を行っている。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
統計調査員協議会を組織することにより、統計調査員の確保及び円滑な統計調査を行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
計画的に質の高い行政事務を進める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
協議会員が高齢化している。	いばらき電子申請システムを活用し、若年者の登録を促している。また、協議会を退会する際に、新規加入者（後継者）の推薦をお願いしている。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
調査に必要な統計調査員を確保できた調査の割合	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	協議会員の高齢化に伴い会員数は3名減少しているが、調査に必要な統計調査員は100%確保しており、調査対象者とのトラブルもなく円滑な統計調査が行われた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	今後も行われる統計調査の調査員確保と資質向上のため、協議会の運営は必要であることから、引き続き実施していく。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	42	47	46	42	42
	国・県支出金	15	20	16	20	14
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	27	27	30	22	28
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	239.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	980	0	0
トータルコスト		42	47	1,026	42	42

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		契約管理事務		担当課 財政課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営		計画期間 年度～
	施策	適正な行財政運営の推進		種別 法定事務
	基本事業	計画行政の推進		市民協働
予算科目コード		01-020104-03 単独	根拠法令・条例等	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 入札参加申請による業者登録の受付，工事発注見通しの公表，契約方法の指導，入札参加資格審査会の運営，入札会の執行，契約の締結及び入札結果の公表を行う。
適正な金額による契約の締結，公共工事に対する市民の信頼の確保及び請け負う建設業等の健全な発展を図るため行っている。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
契約履行能力及び信用のおける不特定多数の者を競わせ，最も有利な価格で契約を行い，市の事業を確実に実施する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
計画的に質の高い行政事務を進める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
公正公平な入札行い、最も適正な価格で契約を進め、市の事業を確実に実施したが、市内の業者数が減少傾向にあり、確実な入札執行を進めていけるかが心配される。	契約履行能力及び信用のある不特定多数あるいは特定多数の者を競わせ、最も適正な価格により契約を進め、公正公平な入札執行に取り組んだ。また、確実な入札執行が進められるよう資格審査会等により、入札参加状況などの検討を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
入札案件の設計額に対する契約額の比率（％）	91.00	87.90	90.27	90.27	90.27
入札案件の設計額と契約額の差額（千円）	341,924.00	324,372.00	580,439.00	580,439.00	580,439.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	法律に基づき、公正公平な入札執行を進めており、引き続き成果の維持を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	法律に基づき、公平公正な事業を進めており、法令順守により現状維持に努める。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	4,936	4,073	4,612	4,283	4,283
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,936	4,073	4,612	4,283	4,283
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	1,840.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	7,544	0	0
トータルコスト		4,936	4,073	12,156	4,283	4,283

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		委託バス運行調整事務		担当課 財政課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営		計画期間 平成21年度～
	施策	適正な行財政運営の推進		種別 任意の事務
	基本事業	計画行政の推進		市民協働
予算科目コード		01-020104-05 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているのか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成２１年度に市有バスを廃止し、市主催の事業等に係るバスの利用について、民間業者との委託契約によるバス運行業務を開始した。	公用によるバスの利用について、民間業者と３年契約による委託契約を締結し、各課から申請の受付、委託バス運行業者と連絡調整を行い、市主催の事業や行政運営上必要な事業等に係るバスの運行を進める。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
各課からの申請受付、委託バス業者と連絡調整を行い、効率的なバスの利用を行い、円滑に市主催の事業や行政運営上必要な事業等を進める。	
（参考）基本事業の目指す姿	
計画的に質の高い行政事務を進める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
各課からの申請受付，委託バス業者と連絡調整を行い，効率的なバスの利用を行い，円滑に市主催の事業や行政運営上必要な事業等を進めたが，早朝や夕方などの時間外の運用が増えてきていることが懸念される。	平成２９年度は３年契約の更新時期となるため，入札により適正な業者を選定し，効率的なバスの利用を行い，円滑に市主催の事業等を進める。また，申請受付時に事業の内容や適正な運行時間の審査に努めた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
大型バスの１日当たりの使用単価（円）	52, 981. 00	52, 981. 00	52, 981. 00	42, 480. 00	42, 480. 00
中型バスの１日当たりの使用単価（円）	38, 590. 00	38, 590. 00	38, 590. 00	30, 800. 00	30, 800. 00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	バス運行の要望は多くあるが、年間の予算等を考慮すると、事業の内容や利用人数等の十分な精査が必要である。行政運営上、継続することが必要な事業だが、市有バスによる運営、民間業者に委託による運営の費用対効果を見極める必要がある。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	バスの運送法の改正に伴い、平成２９年度から旅客運送事業の料金制度が変更になり、コストの増加が懸念される。市主催事業等で利用するバスを運行するもので、行政運営上、継続することが必要である。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	4,565	4,478	4,517	10,958	10,958
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,565	4,478	4,517	10,958	10,958
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	133.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	545	0	0
トータルコスト		4,565	4,478	5,062	10,958	10,958

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		統計書「統計もりや」作成事務		担当課	企画課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営		計画期間	昭和59年度～
	施策	適正な行財政運営の推進		種別	任意的事務
	基本事業	計画行政の推進		市民協働	その他
予算科目コード		- - 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
守谷市の統計情報を活用してもらうため、昭和59年度から「統計もりや」の編集を開始した。	守谷市の概要や昭和30年度からの市の歩みを掲載している。 人口・経済・産業・教育文化・保健福祉の内容の数値を年度ごとに調査し、1冊の冊子にまとめたものを、平成18年から市のホームページに掲載し、毎年更新を行っている。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
守谷市の人口の推移や市民生活の内容等を年度ごとにまとめることにより、各種計画の策定の基礎資料に用いてもらう。	
（参考）基本事業の目指す姿	
計画的に質の高い行政事務を進める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
統計データの精査及び活用しやすさ（見やすさ）等の改善を実施する。	統計データの見やすさを考慮し、ページ数を増やした。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
ホームページアクセス数（件）	68,100.00	79,074.00	88,847.00	90,000.00	100,000.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	庁内での活用を周知してきたことにより、成果は向上している。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 □維持	■改善・効率化 □統合 □廃止・終了	「統計もりや」とどまらず、統計全体のページ構成等を工夫することで、統計情報をより多く活用してもらうように努める。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	0	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	74.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	303	0	0
トータルコスト		0	0	303	0	0

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		契約に基づく検査事務		担当課 財政課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営		計画期間 年度～
	施策	適正な行財政運営の推進		種別 法定事務
	基本事業	計画行政の推進		市民協働
予算科目コード		- - 単独	根拠法令・条例等	守谷市建設工事施工・設計業務等の手続き及び監督規程

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
契約の適正な履行を確保するため行っている。	契約金額が30万円以上の成果品又は納品物について、契約の相手方の給付が完了した際に、契約書、設計図書等に基づき当該給付の内容及び数量等の検査を行う。検査の結果、給付の完了が確認された場合は、工事請負等にあつては竣工検査調書又は出来高検査調書、物品等の購入にあつては物品等検査調書を作成する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
契約金額が30万円以上の成果品又は納品物における契約の適正な履行を確保する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
計画的に質の高い行政事務を進める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐増加 ☐維持 ☐削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
契約の適正な履行の確認のため検査・検収を行ったが、新規採用職員が工事担当として多く配置されたことや工事監督経験が浅い職員が増えていることから、検査を通して業者への指導方法等の助言・指導が必要である。	職員への検査・検収を通して、業者への指導方法等の助言や指導等を適正に行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
検査対象件数（件）	391.00	384.00	384.00	384.00	384.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	検査・検収において、工事担当や工事監督をする職員に、業者への指導方法等の助言や指導等を更に進めることにより、契約の適正な履行の向上を図ることができる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持 □ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	契約の適正な履行を確保するため、計画的に適正な検査・検収を行っていく。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	0	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	890.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	3,649	0	0
トータルコスト		0	0	3,649	0	0